

平成29年度第1回 名古屋市交通事業経営有識者懇談会

名古屋市営交通事業経営計画 (2015-2018) の進行管理等について

平成29年11月16日

名古屋市交通局

名古屋市営交通事業経営計画(2015-2018)の概要

(1) 計画期間

平成27(2015)年度から平成30(2018)年度までの4年間

(2) 計画掲載事業

113事業(複数の施策にまたがる13事業は、重複して計上)

(3) 計画目標

○市バス事業

- ・平成30年度に1日あたり34万人の乗車人員をめざします。
- ・経常収支の黒字を確保します。
- ・資金不足を解消します。
- ・計画期間中に50億円投資します。

○地下鉄事業

- ・平成30年度に1日あたり127万人の乗車人員をめざします。
- ・実質経常収支の黒字を確保します。
- ・実質資金不足額を平成26年度比で約10%(263億円)削減します。
- ・計画期間中に542億円投資します。

平成28年度の実施状況(1)

計画に掲げる113事業のうち97%にあたる110事業は8割以上の進捗で順調に進んでいる。一方、「やや遅れ」の事業も3事業あった。

			☆☆☆ 順調 (概ね8割以上の進捗)	☆☆ やや遅れ (概ね5割以上8割未満の進捗)	☆ 遅れ (概ね5割未満の進捗)
平成28年度計			110	3	0
施策	SAFETY ①	安全運行を確保することにより、お客さまの安全・安心を守ります。	17	0	0
	SAFETY ②	南海トラフ巨大地震をはじめとする災害に備え、お客さまの安全・安心を守ります。	7	1	0
	SAFETY ③	施設等の老朽化対策により、お客さまの安全・安心を守ります。	8	0	0
	CHALLENGE ①	誰もが利用しやすい快適な市バス・地下鉄の環境づくりに挑戦します。	38	0	0
	CHALLENGE ②	職員力を高め、お客さまへのより質の高いサービスの提供に挑戦します。	9	0	0
	CHALLENGE ③	名古屋のまちづくりに貢献するため、市バス・地下鉄の魅力向上に挑戦します。	14	0	0
	CHALLENGE ④	さらなる経営基盤の強化に挑戦します。	17	2	0

(注)複数の施策にまたがる13事業は、重複して計上している

平成28年度の実施状況(2)

「やや遅れ」となった事業

事業	状況
地下鉄構造物の耐震補強	耐震補強工事箇所の支障物移設や補強方法の検討に時間を要したものの
市バスの民間への管理委託の拡大	平成29年度に実施予定の市バスの管理委託について、受託事業者の募集を行ったが応募者がなく、再募集を行ったことにより、委託開始時期が平成30年度となったものの
長期修繕計画による賃貸ビルの修繕	他局と区分所有するビルについて、費用負担の調整がつかず一部未実施となったものの

平成28年度の実施状況(3)

計画目標と決算の比較

〇市バス事業

区分	平成28年度 計画(A)	平成28年度 決算(B)	差引(B-A)
1日当たり乗車人員	335 千人	340 千人	5 千人
経常収支	12 億円	22 億円	10 億円
資金不足額	△14 億円	－ 億円	－ 億円
(資金不足比率)	(6.8%)	(－%)	(資金不足の解消)
投資額(建設改良費)	8 億円	12 億円	4 億円

・資金不足額は、計画では平成30年度に解消する見込みであったが、2年前倒しで解消することができた。

平成28年度の実施状況(4)

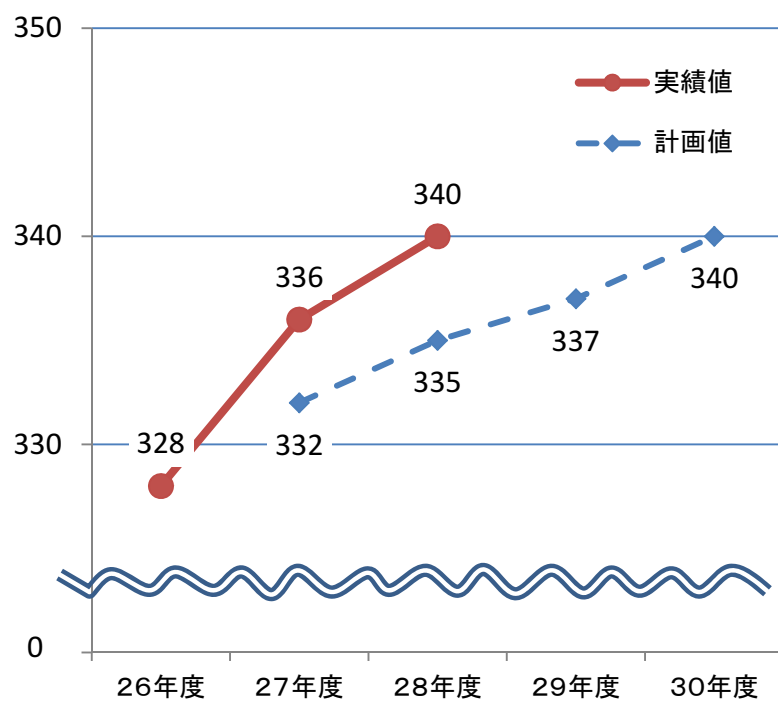
計画目標と決算の比較

○地下鉄事業

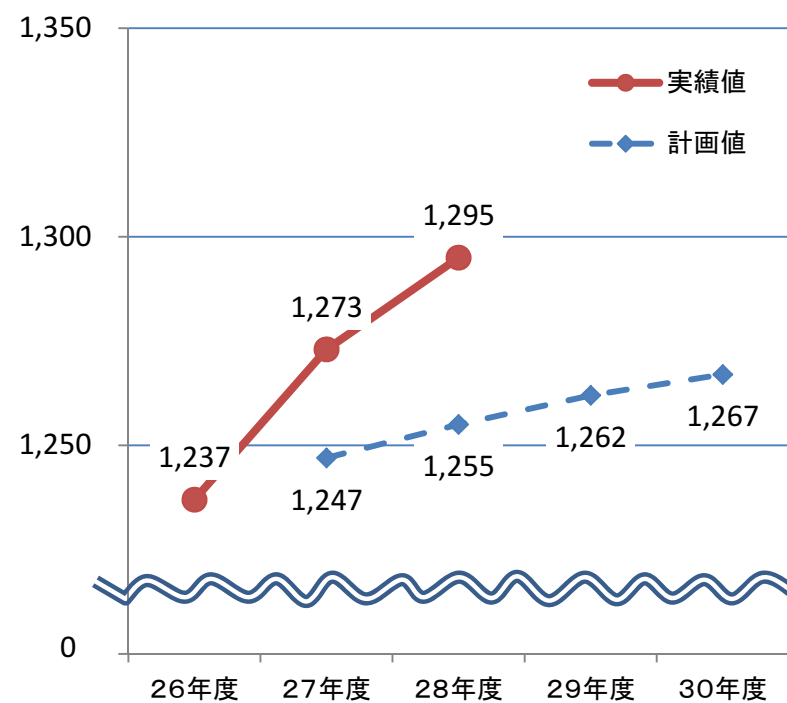
区分	平成28年度 計画(A)	平成28年度 決算(B)	差引(B-A)
1日当たり乗車人員	1,255 千人	1,295 千人	40 千人
実質経常収支	38 億円	86 億円	48 億円
実質資金不足額	△2,397 億円	△2,299 億円	98 億円
投資額(建設改良費)	128 億円	125 億円	△3 億円

推移(1)

1日当たり乗車人員(単位:千人)
○市バス事業



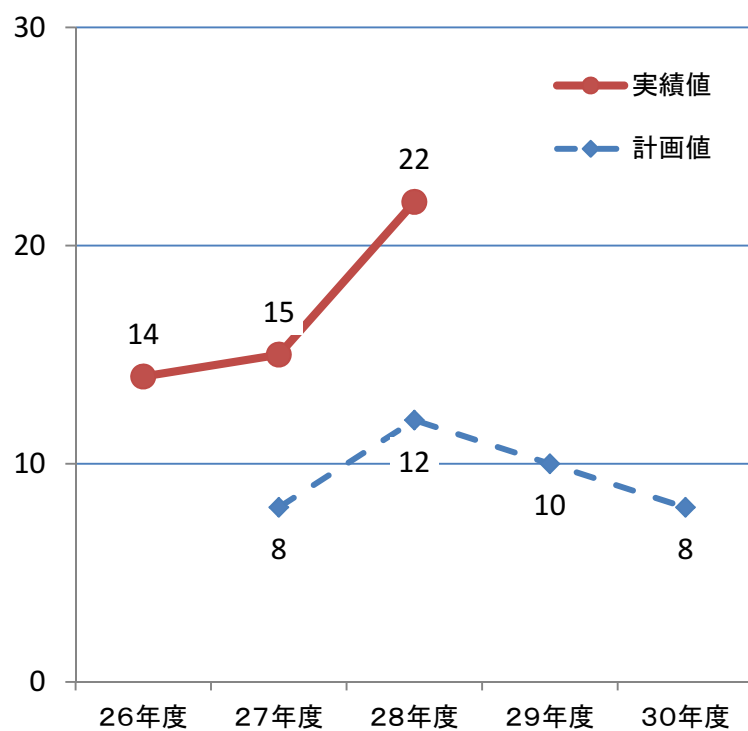
○地下鉄事業



推移(2)

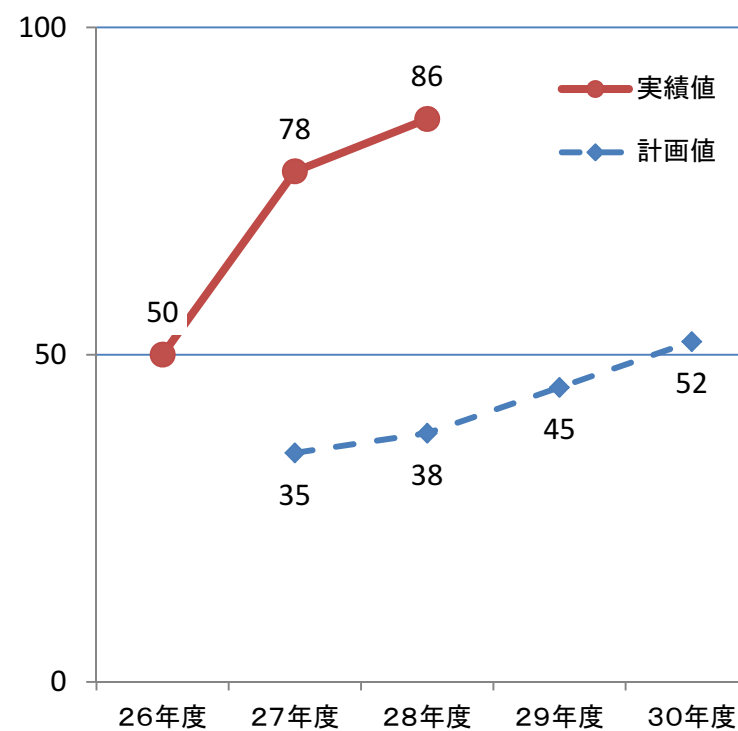
経常収支(単位:億円)

○市バス事業



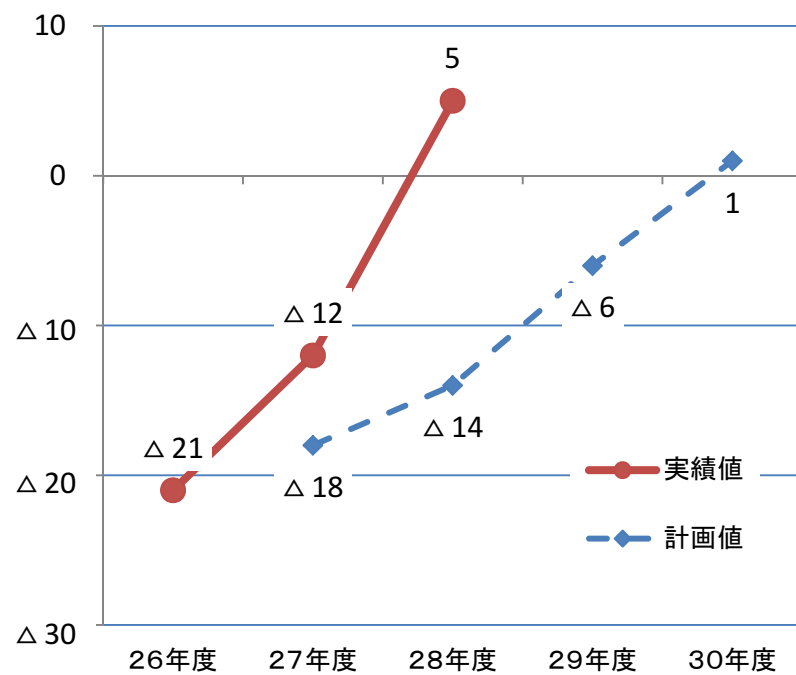
実質経常収支(単位:億円)

○地下鉄事業

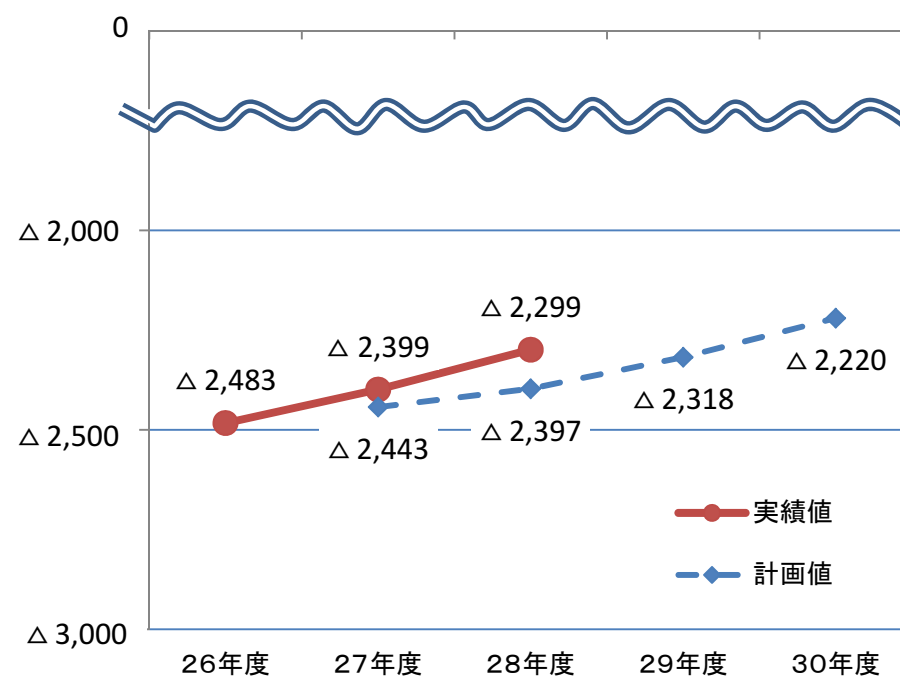


推移(3)

資金過不足額(単位:億円)
○市バス事業



実質資金不足額(単位:億円)
○地下鉄事業



平成28年度決算の認定に関する主な意見

【サービス向上、経営基盤強化】

- ・ 駅スペースの有効活用による店舗収入や広告料収入の拡大

【安全・安心】

- ・ 駅ホームの通勤通学時間帯の混雑緩和と乗車待ち時間の安全確保

【マナー啓発】

- ・ エスカレーター利用
- ・ 女性専用車両

事前説明の際に頂いた主な意見

【計画全般】

- ・ 事業の進捗、乗車人員の推移・分析、市バスの営業赤字や地下鉄の設備投資をふまえた経営基盤の強化

【安全・安心】

- ・ バス運行支援システム、浸水対策、女性専用車両

【利用促進・情報発信】

- ・ 地域巡回バスのPR、観光資源の目的地化、外出の喚起、外国人観光客に向けた情報発信

【その他】

- ・ 東京オリンピック・パラリンピック、リニア開業をふまえた利用促進や施設整備